

公開シンポジウム～学生・研究者・市民の発表会＆交流の場～

# 霞ヶ浦流域研究2022

2022年

3/6(日)

10:00～16:40

(Zoom会議室開場9:00) (<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)

参加費無料、参加登録3/4まで

参加登録はホームページから

## ▼午前の部

- 10:00 開会 中里亮治(茨城大)  
10:05 汽水湖「涸沼」の全8流入河川における魚類の出現パターンと環境変量との関係 木村 将士(茨城大)  
10:20 潟沼とその周辺水域における絶滅危惧種ジエズカケハゼの初期生活史 小熊 進之介(茨城大)  
10:35 北浦の沖帯におけるヌマチチブ仔稚魚の出現パターンと貧酸素水塊の関係 神成田 優花(茨城大)  
10:50 汽水性二枚貝ヤマトシジミの開閉運動に及ぼす底質組成の影響 三浦 七海(茨城大)  
11:05 久慈川における塩分遡上に対する河床地形変化の評価 オウス 謙治(茨城大)  
11:20 急激な堆積作用による未固結堆積物の液状化・流動化変形: 水槽実験による検討 加藤 義之(茨城大)  
11:35 北浦湖底堆積物中の珪藻の運搬過程 組坂 健人(九州大・科警研)



## ポスターセッション 13:00～13:30

- 1.霞ヶ浦周辺における馬糞処理問題の解決に向けた堆肥化とその特徴 渡辺 翔史(茨城大、(株)リーフ)  
2.全球を対象とした地域を代表する河川下流域における河川堤防データの生成 中井 優貴(茨城大)  
3.CO2センサの計測精度の検証とメンテナンス作業の効率化に関する研究 渡邊 花蓮(茨城大)  
4.涸沼川水系のダム湖と河川における特定外来生物コクチバスの拡散状況と餌利用の比較 高沢 剛希(茨城大)  
5.水戸駅南口地区を対象とした内水氾濫に対する側溝の効果の検証 森下 祥行(茨城大)

## ▼午後の部

- 14:00 スマート農業対応型の大区画圃場開発と環境調和 黒田 久雄(茨城大)  
14:15 気候変動が霞ヶ浦の植物プランクトン群集動態に与える影響 石川(石渡) 由紀(茨城大)  
14:30 県内3地区のハス田群の環境負荷とその改善策の提案 佐野 健人(茨城県霞ヶ浦環境科セ)  
14:45 夏季の北浦における水温成層及び貧酸素水塊の形成と消失条件の検討 北村 立実(茨城県霞ヶ浦環境科セ)  
15:00 北浦の湖底堆積物に含まれるマイクロプラスチックに関する研究 坂本裕樹(茨城大)  
15:15 ~休憩~  
15:30 帰還困難区域の山地渓流に生息する大型無脊椎動物の放射性セシウムについて 小川 侑真(茨城大)  
15:45 福島県浪江町の請戸川流域における放射性Sr分布状況 荏部 甚一(近畿大)  
16:00 霞ヶ浦における水質の長期変動と気候変動の関連性の評価 松本 大樹(茨城大)  
16:15 夏季の霞ヶ浦における西浦と北浦の混合状態の比較 佐藤 和貴(茨城大)  
16:30 閉会 桑原祐史(茨城大)

\*プログラムには当日の演者のみ記してあります。



主催:茨城大学地球地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション(<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)  
霞ヶ浦流域フィールドコンソーシアム

問い合わせ先: TEL: 0299-66-6886, E-mail: [mika.tarui.8720@vc.ibaraki.ac.jp](mailto:mika.tarui.8720@vc.ibaraki.ac.jp) 担当: 樽井

\*当ステーションは、文部科学省により認定された全国唯一の湖沼の教育関係共同利用拠点です。

